



長尾小 2年 山田 貴太 さん



長尾小 3年 佐守 權 さん



富田小 2年 山口 華子 さん



富田小 4年 小松 満奈実 さん



穂井田小 1年 藤原 真衣香 さん



穂井田小 6年 森永 望央 さん



玉島北中 3年 西山 笑 さん



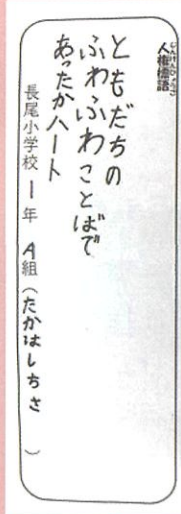
玉島北中 1年 小野 莉央 さん

人権ポスター 標語展

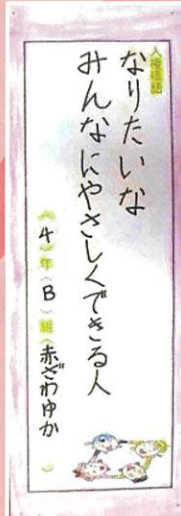
12月4日(土)～11日(金)に玉島北公民館で人権ポスター・標語展を開催し、ポスター53点、標語40点を展示しました。その中から、選定された作品を紹介します。

素晴らしい作品をありがとうございました!

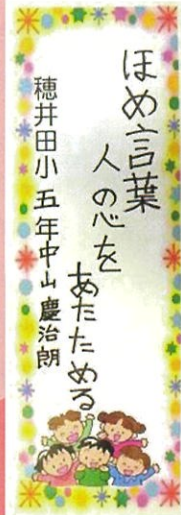
長尾小 1年 高橋 知紗 さん



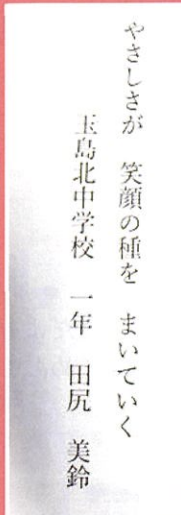
富田小 4年 赤澤 祐香 さん



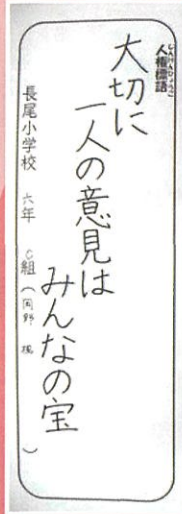
穂井田小 5年 中山 慶治朗 さん



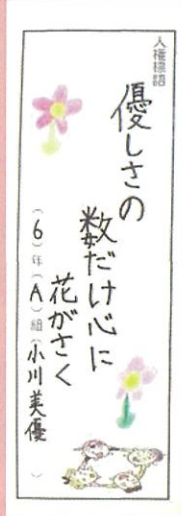
玉島北中 1年 田尻 美鈴 さん



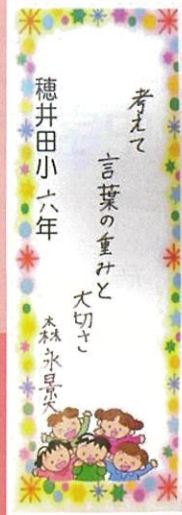
長尾小 6年 岡野 楓 さん



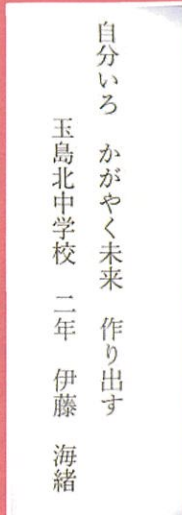
富田小 6年 小川 美優 さん



穂井田小 6年 森永 景大 さん



玉島北中 2年 伊藤 海緒 さん



人権だより 第59号

ふれあい

発行 令和5年2月
玉島北中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷市玉島北公民館
倉敷市玉島八島 1773-10
電話・FAX (086) 526-5315

4 中学校区合同研修視察 ヒラキンリサイクルステージ玉島と亀島山地下工場へ



さわやかな秋晴れの10月6日(木)、22人を乗せたバスは、地元玉島と水島に向けて出発しました。

最初の研修場所「ヒラキンリサイクルステージ玉島」は、社会的役割として鉄の回収事業に参入した会社です。循環型社会の中で、徹底したリサイクルを行っています。工場内で「手分解」「選別」「破碎」「切断」「解体」など様々な作業現場を見学し、大きな工場と解体した量の多さにびっくりしました。限りある天然資源を大事にし、再使用する資源を生むことの大切さを学びました。

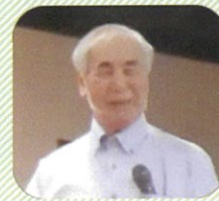
次の研修場所は「亀島山地下工場」です。ここは昭和20年4月に水島航空機製作所が空襲されたことがきっかけになり、多くの朝鮮人を含む労働者が動員され、突貫工事で作られた地下工場でした。ここは「花崗岩」を掘った地下工場で、今も当時の構造がほぼそのまま残っている貴重な戦争遺跡です。

参加した一人ひとりが過去の歴史を振り返り、学ぶことができ、実り多い研修となりました。(人権学習推進委員会会長 小坂 秀三)



人権教育講演会 私の歩んだ道 ～見えないから見えただもの～

認定NPO法人 ヒカリカナタ基金理事長 竹内 昌彦 先生



9月10日(土)、竹内昌彦先生をお招きして、玉島北公民館主催の人権教育講演会を開催しました。

講演会では、視覚障がい者であるご自身の生き立ちや、日常生活のこと、開発途上国の目の不自由な子どもたちへの支援について、笑いを交えながらわかりやすくお話してくださいました。竹内先生のお話を聞き、周りの人に感謝し、他人に思いを巡らせる心豊かな人間になることで、本当の幸せを見つけることができると教えていただきました。

最後は、参加者からの温かい拍手で締めくくられました。



参加者の感想

目が不自由なためのいじめに対して、引き下がるのではなく立ち向かい、周囲を変えていった先生の生き方に感動しました。いじめや悩みを抱え、不登校や引きこもりの人にも講演を聞いてもらいたいと思いました。(60歳代)



点字ブロックの上に物を置かないで

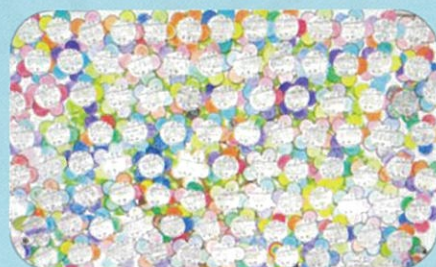
点字ブロックは岡山市が発祥ということをご存じですか?世界初の点字ブロックが1967年に原尾島交差点に設置されました。2010年には竹内先生をはじめ、有志の方々により記念碑が建てられました。記念碑設置事業の協賛企業が「点字ブロックの上に物を置かないで」ステッカーを作成し、啓発活動を行っています。



小・中学校での人権教育の取組をご紹介します！

長尾 小学校

本校では、人権教育のテーマを「自分や友達のよさを認め合い、一人ひとりを大切にしよう」と設定し、人権意識の高揚に努めています。校内人権週間を年間3回設け、友達とのつながりや関わりを大切にしながら様々な活動に取り組んでいます。



第1回校内人権週間では「自分のよさを見つけよう」をテーマとして、「Goodカード」という取組をしました。友達を書いてくれた「よいところ見つけ」のカードをもらうことで、自分のよいところを見つめ直す機会となりました。第2回校内人権週間では、「友達のよさを見つけよう」をテーマに取り組みました。校長先生のお話を聞いたり、友達のよいところ見つけをしたりするなどの取組をすることで、友達を大切に作る気持ちを高めました。また、縦割り班での遊びも計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になってしまいました。



これらの取組によって、自分や友達を大切にしようという気持ちが育ってきています。これからも一人ひとりを認め合い、大切にすることができる子どもたちに育てられるように、人権教育を進めていきたいと思ひます。

(人権学習推進委員会事務局員 長尾小学校教諭 美甘 亜依)

富田 小学校

今年度の玉島北中学校区の人権学習のテーマである『SDGsと人権』を受けて、富田小学校では、代表委員会で「SDGsの取組」について話し合い、各委員会やクラスで取組をはじめました。きっかけは、運営委員会が「よりよい



富田小学校になるために全校のみんなにSDGsを知ってもらい、全校でできる活動を考えていこう。」と提案したことから、

活動がスタートしました。1学期には、「SDGsウォークラリー」を校内で行い、クイズ形式で問題を解くことから、SDGsについて知る活動を行いました。2学期には、各委員会やクラスでできる活動を話し合って代表委員会にもちより、共有しました。「男女仲良くする」「節電・



節水をしよう」「フードロスをなくすために給食を残さず食べる」などを重点におき、全校で意識して取り組んでいます。また、各委員会もポスターや校内放送で取組が充実したものとなるように広報を行っています。SDGsの取組はスタートしたばかりですが、継続して実践していきたいと思ひます。

(人権学習推進委員会事務局員 富田小学校教諭 戸田 智也)

穂井田 小学校

本校では、人権意識の高揚やよりよい人間関係作りをめざして様々な取組をしています。6月と11月に人権週間を設け、児童が話し合って決めた「44人が仲良く楽しい穂井田小学校にしよう」の人権スローガンのもと、各学級の人権



目標の作成、人権ポスター・標語の作成、なかよし班遊びや友達のよいところを書いて伝える活動などを行いました。また、学校の玄関にある掲示板には「穂井田小のキラリ発見」として児童のがんばっている姿やよい

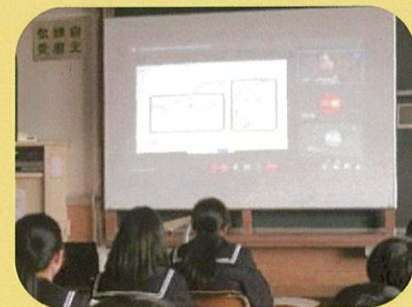


い行動をしている姿を写真に撮って掲示し、互いのよさを認め合う環境作りにも取り組んでいます。これらの取組を通して、児童の中に自分や友達のよさを大切にしていこうという姿勢が育ってきています。これからもお互いのよさを認め合い、自分や友達を大切に作る心がさらに育っていくことを願ひ、人権教育を進めていきたいと思ひます。

(人権学習推進委員会事務局員 穂井田小学校教諭 安藤 昌子)

玉島北 中学校

玉島北中学校では、年2回6月と11月に人権学習強調月間を設け、人権標語の作成、人権学習、集会、人権朝読書を行っています。今年度6月の人権集会は校内放送でクラスの人権標語を



発表しました。1年生はいじめ問題とハンセン病、2年生は染染一揆と水平社、3年生は結婚を題材に学習しました。1年生はハンセン病学習のまとめとして11月に、長島愛



生園歴史館・学芸員の田村朋久さんの講演「人権が尊重される社会のために～ハンセン病問題から学ぶ～」を聞き、正しく知り、正しく行動することの大切さを再確認しました。全校では、中央大学人文学研究所・客員研究員、高橋聡美さんによる講演「自分と相手を大切にするために」をオンラインで視聴し、ストレス対処法やリフレーミングなど役立つ考え方を教えていただきました。人権朝読書最終日には、3年生田中晶さんの作文「人のいいところを見つける」の朗読を聞き感想を書きました。

(人権学習推進委員会事務局員 玉島北中学校教諭 中野 千鶴)



人権だより「ふれあい」は、各地区の社会福祉協議会・愛育委員会をはじめとした地域の方々のご協力により、玉島北中学校区全戸に配付しています。

